

## 旧東海道を歩く 箱根西坂

実施日	2010年9月5日(日)		
天候	晴れ		
リーダー	一柳 昭		
参加者	吉田伊勢次郎、若村貴世子、友近洋子、飯島義江、若村勝昭、服部美千代、一柳昭、涌井良明、島本陳重、小松勲、小松月子、安田三恵子、小村井好枝、伊藤久雄、関塚七海 計15名		
費用	新宿駅ー小田原駅	850 円	
	小田原駅ー箱根関所跡	1,150 円	
	山中城跡ー三島駅	590 円	
	三島駅ー小田原駅	650 円	
	小田原駅ー新宿駅	850 円	
	費用合計	4,090 円	
タイム	小田原駅(9:05~9:20 バス)関所入口バス停(10:20~10:33)箱根峠(11:22~11:29)兜石跡(11:45~12:15 昼食)兜石(12:30)雲助徳利の墓(13:35)山中城跡(13:43~14:20)山中城跡バス停(14:30~14:40 バス)三島駅(15:15)		

天気情報では小田原は35℃の猛暑日、はたして箱根は。終点の関所入口バス停留所を降りると涼しい。今日は楽だと話しながら出発。これが後になったらとんでもない間違いと判った。

今日のテーマの箱根西坂は箱根峠から三島宿までだが、交通手段の関係で出発は関所入口で箱根峠までは東坂を歩くことになる。第1国道を三島方面に600



m程歩き右に入り200m程歩いて左に入ると東坂最後の石畳道だ。入り口にある石仏群を見たあと、向坂、赤石坂、釜石坂、風越坂、狭石坂と続く石畳道を登っていく。坂を登り切ると目の前が車がビュンビュン通る第1国道。第1国道を横切って国道を登り箱根峠へ。



西坂への入り口には冠木門があり、門のすぐ先に新箱根八里記念碑(峠の地蔵)がある。「黒

柳徹子」「宮城まり子」「橋田寿賀子」ら8人の女性のそれぞれの言葉がユーモラスな姿の平成の地蔵様に添えられている。

「是より江戸二十五里」の碑から西坂の旧道に入り篠竹のトンネルを下って行くと兜石がある。豊臣秀吉が後北条攻めの時に兜をこの石の上に置いたので兜石と呼ばれようになったといわれるが、



本当は兜のような形の石だから兜石だと思う。

この後、雑木林の石畳道が切れたところに「雲助徳利の墓」がある。この

雲助さん、本名は松谷久四郎、大名の剣術指南役であったが、大酒飲みのため酒で失敗して、侍をやめて箱根の雲助に。もともと学があり剣の腕が立つので多くの雲助に慕われ、死後、みんながお金を出し合って徳利の付いた墓をたてたという。

雲助徳利の墓の先が山中城跡である。山中城は、後北条氏の小田原の西の防衛の拠点として築かれた城郭で、約7万坪



に及ぶ広大なものであった。その構造は、後北条氏の築城技術の粋を集め、後北条氏特有の防御施設を備えていたが豊臣勢7万の大軍に攻められわずか半日で落城した。



現在の山中城跡は三島市によって当時を反映した整備改修がなされ、堀や土

塁などの遺構は風化を避けるため、盛土による被膜の上、芝を張って保護し、畝堀や障子堀の構造が明確に把握できるように整備され



ている。猛暑の中、山中城跡を見学した後、出入口の横にある売店の店員さんに三島駅のバスについて聞いたらバス停は3、4分先にあり、15分後に来ると聞いたので、みんなにショートカットしてバスで行こうと提案したら、全員が大賛成で冷房のきいたバスで一路、三島駅へ。車中から8月に下見に来た時は炎天下この第1国道を8km歩いて三島駅まで行ったことをみんなに話したら「リーダーさん大変ご苦労さま」の一言でした。

飯島さんから「真夏の大名行列」と言われ、ともあれ姫も殿もお疲れ様でした。

(記・一柳 昭)

(写真提供・涌井良明)

